

～カブトビールを造っていた男が台湾へ～

ドイツから半田、そして台湾へ ビール技術伝承物語



ドイツビール技術 × 半田・カブトビール = 台湾・高砂麦酒

2024年

7/13(土)～7/28(日)

AM9:00～PM5:00(7/13は12:00より)

半田赤レンガ建物 企画展示室

愛知県半田市榎下町8番地

本格ドイツビールのカブトビールは、半田でドイツ人技術者ヨーゼフ・ボンゴルにより開発された。ボンゴルのもので学び、醸造部長まで上り詰めた男が、その後台湾初のビール製造会社の初代技師長となった。

ドイツのビール醸造技術が半田のカブトビールを経て台湾に移植された、グローバルなビール醸造技術伝承の経緯をたどった。



台湾・高砂麦酒

台湾初のビール会社として、台湾を活動拠点とする日本の資本家によって大正8(1919)年に設立された。戦後は「台湾啤酒(ビール)」と名称変更し今日に至っている。

ヨーゼフ・ボンゴル

明治31(1898)年、ドイツから丸三麦酒の醸造技師として派遣された。ドイツゲルマニア社の完全な設備とドイツの麦芽、ホップを使用し、カブトビールを開発した。

とうじんはらかけとし 唐仁原景俊

半田の丸三麦酒に入社後、ドイツ人技師ヨーゼフ・ボンゴルに学び明治40(1907)年に醸造部長となる。その後台湾で初めてとなるビール会社に招聘され、初代技師長となる。

Photo: 創業当時の高砂麦酒工場全景
※イメージのために擬似的にカラー化したものです

パネル写真展

- ① 唐仁原景俊の履歴をたどる
- ② 丸三麦酒入社～台湾のあゆみ

特別企画

- I. 高砂麦酒のルーツを継ぐ台湾ビール
- II. 唐仁原景俊のプライベート記録
- III. 台北市内に残る建国工場
- IV. 台湾での唐仁原景俊の活躍
- V. 台湾歴史資源経理学会の紹介

■主催 一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

■共催 半田赤レンガ建物

■後援 半田市、半田市教育委員会、半田商工会議所、半田市観光協会、中日新聞社
日本福祉大学、名古屋鉄道株式会社、名鉄観光サービス株式会社
留日名古屋華僑総会、一般社団法人台湾世界遺産登録応援会

■協力 社団法人台湾歴史資源経理学会

開催場所

半田赤レンガ建物 愛知県半田市榎下町8番地

TEL0569-24-7031 <https://handa-akarenga-tatemono.jp/>

半田赤レンガ建物
公式サイト



●名鉄河和線「住吉町駅」から徒歩約3分